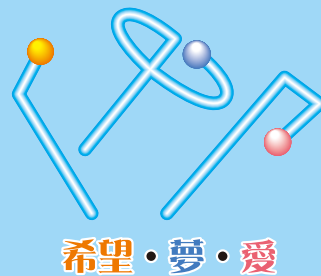


せんだん



一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり

法人創立35周年になる新年度を迎えて

2021（令和3）年度は、社会福祉法人一れつ会にとって法人創立35周年を迎える年度となります。今まで節目の年度では5周年を周期として、15周年・20周年・25周年・30周年と、記念式典や感謝祭を開催し、多くの皆様方とふれあいを重ねてまいりました。例年であれば、35周年の記念事業を新年度の中心的事業として計画しているところですが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策を余儀なくされ、多くの皆様方と集う場を設け、ふれあうことは先に見送らざるを得ないと考えております。

御幸町上岩成に共同作業所「せんだんの家」が開設され、前理事長が神戸から帰って来て所長に就任して以降、社会福祉法人資格の取得と認可施設の建設が本格的に目指されるようになってから何より大切にしてきたことは地域の皆様とのふれあい、つながりの絆であり、地域の中に根をしっかりとおりしていくということでした。それ故、地域の皆様方との交流に積極的に取り組んでまいりましたので、ふれあいの機会がなくなってしまうという現状は残念でなりません。ただ、幸いにもこの地域だよりという非接触の方法で皆様方とつながることが大変嬉しく、長年、配布のご協力を賜っております公民館の方々ははじめ町内会長の皆様方に、心より厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策が充実し、地域の皆様方と直接的にふれあう行事を開催できる日が一日も早く来ることを願いながら、法人創立35周年を迎えるこの一年間を関係者一同、大切に過ごしてまいりたいと思っております。今月号においても、今後の歩みの道標にするために一れつ会の足跡を少し辿ってまいります。

社会福祉法人一れつ会 理事長 小林 智久



創立15周年記念式典



創立15周年記念感謝祭



創立20周年記念感謝祭



創立25周年記念感謝祭



創立30周年記念感謝祭

社会福祉法人 一れつ会



●法人本部

〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地
TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740
HP : <https://www.ichiretsukai.jp> E-mail : itiretu@h2.dion.ne.jp

●事業所一覧

せんだんの家（生活介護、就労継続支援B型）
いこいの家（施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援）
ウイズ（就労継続支援A型）
ほほえみ（生活介護）
居宅介護支援センター和らぎ（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援）
ほっと（一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業）
しんぷおにい（生活介護、就労継続支援B型、日中一時支援）
春日寮（施設入所支援、生活介護） かすが（短期入所、日中一時支援）
青葉（生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練（生活訓練））
いすみ（共同生活援助（グループホーム））
かがやき（放課後児童クラブ）

一れつ会のあゆみ 法人認可から今日までの足跡（全4編）

～第1編 措置時代の終焉期までの中～

福祉の里と呼ばれる加茂の地に社会福祉法人 一れつ会が産声をあげた1987(昭和62)年は、措置制度の時代でした。一れつ会は、法人創立から15年余りの歳月の中で、法人設立の理念に沿って、4つの施設を整備しました。

法人認可

福祉の里と呼ばれる加茂の地に一れつ会を設立

1987
昭和62年



入所更生施設いこいの家を開所

～親亡き後の障がいのある本人の生活を不安に思う声に応えるために～

1994
平成6年



福祉工場ウイズを開所

～不景気な時代に就労を希望する利用者の要望に応えるために～

1999
平成11年



通所授産施設せんだんの家を開所

～広島県立福山北養護学校
(現：広島県立福山北特別支援学校)
卒業後の日中活動のために～

1988
昭和63年



グループホームよろこび荘を開設

～障がいのある方も地域の一員として生活できるようになるために～

1996
平成8年



デイサービスセンターほほえみを開所

～重度心身障がいのある方の日中活動の場・生きがいづくりを願う声に応えるために～

2002
平成14年



そして2002(平成14)年、戦後の福祉施策の根幹とされてきた措置制度は多くの観点から見直され、50年余りの制度としての役割を終えることになりました。

次号では、次のステージである2003(平成15年)以降の支援費制度における法人のあゆみについてご紹介させていただきます。

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

一れつ会では、現在も新型コロナウイルス感染症対策として感染リスクを最小限に抑えるための行動基準を定め、3密回避やマスクの着用、手洗いやうがい、手指消毒や検温、換気の実施はもちろんのこと、事業所館内や公用車の消毒を徹底するなどの取り組みを続けております。また、外出や行事等イベントの自粛も継続して行っており、職員をはじめとして、利用者や家族のみならず、そして関係者のみなさまにご理解とご協力をいただきながら、感染防止に努めております。

新入職員紹介

新しく一れつ会の仲間になった職員を紹介します。

①配属先・職名 ②一れつ会に入った動機・きっかけなど



井上 優香 (いのうえ ゆか)



①いこいの家・生活支援員
②私は、一れつ会でアルバイトと実習をさせていただきました。その際の利用者の方と職員の明るく楽しい雰囲気が印象的で、私もここで働きたいと思い、入職を希望しました。

恵木 晴菜 (えぎ はるな)



①いこいの家・生活支援員
②社会福祉施設に興味があり、自分にできることを支援が必要な方のサポートに活かしたいと思ったからです。体を動かすことが好きなので、利用者の方と様々な運動や体を動かす活動ができていいなと思っています。

藤原 麻衣 (ふじわら まい)



①いこいの家・生活支援員
②一れつ会は家が近いこともあり、小さい時から知っていて、行事などに行ったことがありました。そこで、自分も職員として働くことができればいいなと思い、入職しました。利用者の方に信頼されるような職員になりたいと思います。

宮本 美江 (みやもと よしえ)



①いこいの家・看護師
②一れつ会に勤めている友人から、利用者の方との関わりや活動について知り、私も人に寄り添える支援がしたいと思いました。一人ひとりとじっくり向き合い、日々の体調の変化に気がつけるように頑張りたいと思います。

藤本 久美 (ふじもと くみ)



①いこいの家・調理員
②私は子どもの頃、祖母の食事の手伝いをしていて、いつか食に関心を持ち、人に喜ばれる食事を提供したい、いろいろな知識を得られるこの一れつ会の現場で働いてみたいと思い就職しました。良い仲間に出会って頑張っています。

江草 桂子 (えぐさ けいこ)



①ほほえみ・調理員
②就職をするなら給食業務と決めていました。食べることは、生きること。利用者の方に美味しい食事を提供し、喜んでいただけたらうれしいです。

山下 知花 (やました ともか)



①しんぷおにい・生活支援員(非常勤)
②幼い頃から障がいのある人と接する機会が多く、障がいのある方の役に立ちたいと思い、一れつ会に就職しました。利用者の方が楽しく快適に過ごせるように支援していきたいと思っています。

篠原 博美 (しのはら ひろみ)



①しんぷおにい・看護師(非常勤)
②「『苦手』『できない』『障がい』『コンプレックス』は、克服しなければならないものではなく、活かせるものだ!」を実現できる場所が一れつ会だと思い、入職を希望しました。

川相 恭子 (かわい きょうこ)



①春日寮・生活支援員
②保育士として働いてきた中で、障がい福祉の分野に関心が高まっていき、一れつ会で働きたいと思いました。利用者の方に信頼してもらえる支援員になれるよう、笑顔いっぱいがんばりたいと思います。

桑田 清美 (くわだ きよみ)



①春日寮・生活支援員
②学校を卒業して10年間、障がい者施設で仕事をしていました。またこの仕事がしたいと思って一れつ会に就職しました。

瀬戸 メイナ (せと めいな)



①春日寮・生活支援員
②一れつ会を訪問した際に、利用者の方と職員の方が楽しそうに関わっている姿と、整った設備を見ました。その一れつ会で、今まで以上に福祉について学んだり技術を身につけたりしたいと思い、就職しました。

谷本 純子 (たにもと すみこ)



①春日寮・生活支援員
②私はこれまで高齢者介護施設などで働いてきました。今まで経験してきた仕事と違う分野で働きたいと思い就職しました。利用者の方に寄り添えるような支援員になれたらと思います。

宮川 亜希恵 (みやがわ あきえ)



①春日寮・生活支援員
②人と関わる仕事で、今までとは全く違う分野に自分を置いて、新たな経験と感動を重ね、自己成長に努めたいと思い就職しました。前向きに学んでいきたいと思っています。

公文 尚子 (くもん なおこ)



①春日寮・看護師
②福祉の分野に関心が高まり就職を希望しました。利用者の方が「より自立した生活」を送ることができるように支援していきたいと思っています。

もっと安全・安心の我が家へ 個室整備とトイレ改修

入所施設のいこいの家では、「令和2年度社会福祉施設等施設整備費補助金」を利用し、既存の3部屋を改修して4部屋の個室の整備とトイレの改修工事を行いました。

いこいの家では入所利用者と短期入所利用者合わせて約60名の利用者が生活しています。入所施設ではこれまで、感染症の予防と感染の拡大防止が重要な課題でしたが、世の中に新型コロナウイルス感染症が発生したことにより、さらに感染症に対する緊張した日々が続いています。いこいの家では、日常的に手洗いや手指消毒、館内消毒、換気を行っています。日中は主に約10〜15人ずつのグループに分かれて活動を行い、夜間から朝にかけては2人部屋で過ごすため、一人が感染症にかかる、どうしても他の方に感染しやすい状況にあります。

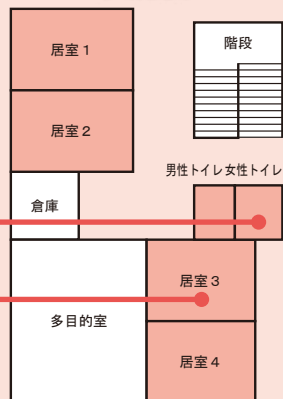
今回の個室の整備により、感染症が疑われる方には早めに個室に移っていただくことができるようになりました。これによって他の利用者との接触を避けることができるようになり、新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症の拡大防止、いわゆるクラスター発生の防止が期待できます。またこの個室は、障がいの特性上、自分一人の空間で過ごすことで安心できる方への活用も考えており、利用される方にとって、様々な面で安心して過ごしていただける環境になったのではないかと思います。

今後もしこの家では、利用される方が安心して生活できるよう、支援の面ではもちろん、設備の面でも利用者の状況に応じた配慮をしていきたいと思っています。

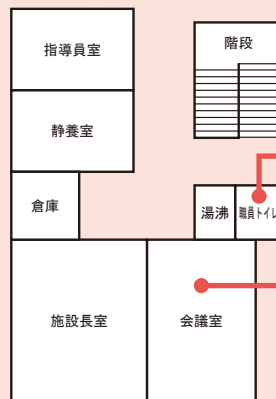
(いこいの家 杉原 亮)



改修部分 After



Before



学生アルバイトの方にインタビュー

一れつ会では、当法人が運営する様々な福祉サービス事業所と放課後児童クラブで学生アルバイトを募集しており、現在7名の方がアルバイトをして下さっています。今回は、福祉サービス事業所いこいの家（日中一時支援）でアルバイトを経験した2名の方にお話をうかがいました。

井上 優香さん



Q1. 一れつ会でアルバイトを始めたきっかけを教えてください。

A1. きっかけは、大学に貼ってあったアルバイト募集のチラシを友人と見たことです。それまでにしていた飲食のアルバイトと分野が全く違ったので興味を持ち、友人と一緒にアルバイトを始めました。

Q2. アルバイトを通して感じたことを教えてください。

A2. 実際にアルバイトを始めてみると、利用者の方と一緒に時間を過ごすことが主な内容でした。様々な個性のある利用者の方と一緒に過ごす中で、人と関わることの楽しさを感じることができました。元々、自分から話し掛けたり、行動を起こす事が得意ではなかったのですが、アルバイトを通してたくさんの人と関わりたいと感じるようになりました。

アルバイトに来られてい
る方の中から当法人への
就職を希望される方、
職員内定が決まってから
アルバイトをされる方な
ど、アルバイトを始める
きっかけは様々です。



アルバイトを募集しております。

お問い合わせは (084) 972-5544 (担当: 重谷) まで。

アルバイトの仕事内容

●福祉サービス事業所

障がいのある方の生活や活動のサポートを職員の補助として行います。

●放課後等児童クラブ

放課後や休日、学校の長期休暇中に利用しに来られる子どもたちの学習や遊びのサポートを職員の補助として行います。

藤原 麻衣さん



Q1. 一れつ会でアルバイトを始めたきっかけを教えてください。

A1. 職員採用の内定をもらったのがきっかけです。その前から、大学にある福祉関係のアルバイト募集が載っている掲示板で、一れつ会でもアルバイトができる事を知っていました。また、友人が実際にアルバイトをしている事、コロナウイルスの影響で施設見学ができなかったこともあり、アルバイトをすることによって、施設の雰囲気や利用者さんの様子を知る事ができるのではないかと思います。始めました。

Q2. アルバイトを通して感じたことを教えてください。

A2. 非言語コミュニケーションの重要性を知ることができたと思っています。利用者さんの中には言語での会話が難しい方もいます。ふとした時の表情や行動の変化などから利用者さんの意向を汲み取る支援員の皆さんを見て、非言語コミュニケーションは言語以上に情報を伝える力があるのだと感じました。

(せんだんの家 森山 祥子)



Food&Health

ビタミンDって？～免疫力アップに期待大のビタミンの一種～



免疫機能を調整する働きがあり、疾病予防として注目されている「ビタミンD」。期待できるその働きや上手な摂り方を知って、健康な体を目指しましょう。

ビタミンDとは

脂溶性のビタミンです。水に溶けにくく、油脂に溶けやすい性質があります。

ビタミンDは食事からの摂取だけではなく、日光に当たることによって体内で作ることができます。

ビタミンDの働き

- ①骨を丈夫にする……腸管からのカルシウムの吸収を促進します。
- ②免疫機能を調整する……体内に侵入したウイルスや細菌などに対して、過剰な免疫反応を抑制し、必要な免疫機能を促進します。

ビタミンDの上手な摂り方

『適度な日光浴』

冬期以外は1日5分～10分程度日光に当たる事で、ビタミンDを体内で作ることができます。紫外線の少ない冬期では1日60分程度です。強い紫外線に当たる必要はなく、手のひらだけの日光浴でもよいです。

※紫外線予防はお忘れなく！

『ビタミンDを多く含む食品』

◎まぐろ ◎さば ◎にしん ◎いわし ◎鮭 ◎卵黄 ◎きのこ類 を取り入れましょう。

参考：厚生労働省『「統合医療」に係る 情報発信等推進事業』

(いこいの家 栄養士 後藤 敦子)

【簡単レシピ】ビタミンDと発酵食品で免疫力アップ！！

～さば缶のキムチ炒め～

材料(4人分)

さば缶(水煮)……1缶 しめじ………1パック
しいたけ………4枚 白菜キムチ……60g
ごま油………適量 塩・こしょう……適量
ねぎ(小口切り)……お好みで

作り方(調理時間：10分)

- ①熱したフライパンにごま油を入れ、中火でしめじ、しいたけを炒める。
- ②①にさば缶を入れ、さっと炒めて、白菜キムチを加えて強火にして炒める。
- ③②に塩、こしょうを振る。
- ④皿に盛る。お好みで、小口切りのねぎを振りかけてお召し上がりください。

四季折々のフレッシュな野菜を地域の人に食べてもらいたい



せんだんの家とウイズでは、寒い冬も美味しい野菜をつくるために毎日作業に取り組みました。毎年秋は、春に収穫できるたまねぎの種をまき、青く育った苗を畑に植え替えます。冬の冷たい風が吹く中、土の中で甘く大きなたまねぎが育つように、毎日、みんなで畑の草抜き作業に取り組みました。「ヒュー」と風が鳴る中、利用者さん同士の「雪が降ってきたよ」「寒いね～。早く事業所に戻りたいな」「でも甘くて大きいたまねぎになるためには草抜きが大事なんだよね」「お客さんが美味しいたまねぎを待ってるもんね」といった会話が聞かれました。

せんだんの家とウイズで育てた野菜は、地域の方やスーパー、学校給食に販売し、利用者の方の工賃になっています。私たち支援員はいつも、美味しい野菜をたくさんつくり販売することで、利用者の方の生活が豊かなものになることはもちろん、購入してくださった方々の食卓に私たちが育てた野菜が並び、楽しい会話が広がることを願いながら、心をこめて利用者の方と一緒に野菜を育て、販売活動をしています。ぜひ、今が旬の甘くてみずみずしいたまねぎをご賞味ください。

これから夏の食卓を彩るミニトマトとなすの栽培が始まります。販売シーズンになりましたら、地域だよりや一れつ会ホームページなどでご案内いたします。

(せんだんの家 中山 智史)



ありがとうございました

(12月～2月)
(順不同)

●ご寄付

・諏澤 隆様
・藤井 則夫様
・広島県健康福祉局様

●ご寄贈

・(株)アデリー福山支店様

・(株)ダスキンニコニコ様
・信菱液化ガス(株)神辺営業所様
・太平洋電機産業株式会社様
・(株)ほんだ様
・夢門塾ゆうゆう様
・近藤 千賀子様

・高橋 雅弘様
・三島 隆則様
・山田 俊乃様
・諏澤 隆様
・西岡 順子様
・川上 篤美様

・田川 喜久様
・田中 秀美様
・田邊 幸江様
・藤井 トミ様
・藤井 康子様
・得能 公平様

・福田 育子様
・野坂 八重子様
・林 邦子様
・伊藤 八重子様
・谷本 葉子様
・海原 弘子様

実習生・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学 (12月～2月)

●就業体験実習 (加茂地区) ・広島県立福山北特別支援学校様 1名 ●ボランティア (三吉地区) ・日下 清美様

しんぷおにいの招き猫“三吉福猫”が中国新聞に掲載されました！



取材を受けています。

現在、しんぷおにいでは生産活動の一つとして手のりサイズの陶製招き猫“三吉福猫”を制作しています。昨年12月に中国新聞社の取材を受け、しんぷおにいで“三吉福猫”の制作に携わっている江田知恵さん、梶原勝美さんのお二人がインタビューに答えました。取材当日、インタビューが始まってからしばらくは緊張の面持ちの二人でしたが、記者さんからの優しい問いかけに、次第にリラックスすることができ、笑顔で受け答えをされていました。



写真撮影もバッチリ！

令和3年1月15日付の中国新聞朝刊に取材の様子が掲載され、二人とも“三吉福猫”とともに新聞デビュー！その反響も大きく、新聞掲載当日の朝から問い合わせの電話が鳴り、たくさんの方がしんぷおにいで購入に来てくださいました。

昔からの縁起物であり、福を呼び込むとされている招き猫。しんぷおにいで心を込めて一つひとつ制作した陶製招き猫の“三吉福猫”を皆さまのお手元にいかがでしょうか。

(しんぷおにい 村田 佳織)



三吉福猫

“三吉福猫”販売価格：700円 お問い合わせ先：しんぷおにい (084) 926-1754

祝 成人

1月11日、成人の日に青葉の利用者さん3名が新成人として、晴れて成人の日を迎えられました。コロナ禍の状況の中で、青葉で何かできることはないかと考え、ささやかながらみなでご成人のお祝いを計画しました。

まずは、新たな門出の思い出として記念撮影会。男性はスーツ、女性は振袖に袴を着て写真を撮りました。雑誌のモデルさんのように自らポーズを取られる方もおり、満面の笑みがあふれる素敵な写真が出来上がりました。



大人の仲間入りをしました

祝成人

はいっチーズ



かわいい笑顔です

袴姿、似合ってます♪

青空の下で記念撮影

次に支援員から一人ひとりに寄せ書きをした色紙を、写真とともに贈りました。色紙や写真を見て、大変喜んでくださいました。ご家族の方からも「ありがとうございます。二十歳の良い記念になりました。」など、嬉しい言葉をいただきました。職員一同、3名の利用者さんの更なる成長や活躍を期待するとともに、これからも一緒に頑張っていこうと思う一日となりました。

(青葉 真田 鮎美)

世界に一つのお雛様

春日寮では余暇活動として3月のひな祭りに向け、利用者の方々にお雛飾りを作成していただきました。

お雛様のイラストを利用者の方々に塗ってもらい、塗って頂いたイラストを切り、紙皿に貼ってお部屋に飾れる様にしました。みなさんそれぞれに世界に一つのお雛飾りを作ることが出来ました。



色鮮やかに、丁寧に。



(春日寮 下江 広太) 飾ると部屋が明るく！

一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。

活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会員 1口 500円/月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会(せんだんの家内)までお願い致します。TEL (084) 972-5544



「QRコード」から過去の地域だよりをご覧いただけます。

編集・発行：社会福祉法人一れつ会

印刷：ウイズ